

城南家保ニュース Vol.24-3

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>



暑熱対策に取り組みましょう！

今年もまた暑い夏がやってきます。暑熱対策の準備は行われているでしょうか？暑熱によって採食量や受胎率が低下します。家畜の生産性を維持・向上するために、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりを行いましょ。

畜舎環境面から

1. 畜舎外から畜舎温度を下げる

- ・樹木や遮光ネットなどの設置
- ・断熱材の設置、塗装(石灰)

2. 畜舎内から畜舎温度を下げる

- ・換気扇や扇風機による送風
- ・家畜への直接送風・散水

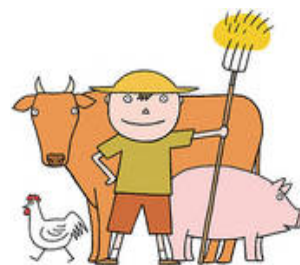
飼養環境面から

1. 飼育密度の緩和など

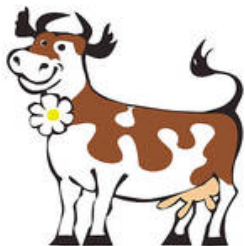
- ・毛刈りの実施(牛)
- ・各家畜における飼育密度の遵守

2. 飼料給与の工夫

- ・給与回数増加
- ・消化の良い飼料の給与



牛の暑熱対策



牛が快適に過ごすことができる温度は乳牛で 10~18℃、肉用牛で 13~25℃であり、肉用牛のほうが比較的暑さに強いと言われています。乳牛では 25℃以上、肉用牛では 30℃以上で暑熱の影響を大きく受けてしまいます。

1. 積極的なビタミンの給与

ビタミン A やビタミン B 群を積極的に給与しましょう。

2. 採食量の維持や冷水の給与

消化率の高い良質な粗飼料を積極的に与えましょう。また、水は牛にとって最も摂取量の多い飼料です。低温で新鮮なものを十分に与えるように心がけましょう。

豚の暑熱対策

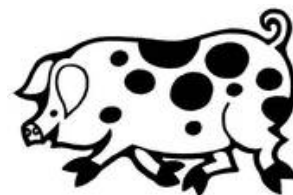
豚は外部環境の変化に応じて水遊びや飲水量の増加など様々な方法で体温調節を行います。豚が快適に過ごせる温度は 10℃~25℃と言われています。

1. 豚を冷やす

細霧やドリップなどで豚の体表を濡らして体温を下げましょう。ファンによって風速を上げたり、換気をよくしたりしましょう。また、凍らしたペットボトルを用いて頭頸部を冷やすことで体表を冷やす方法もあります。

2. 暑さに弱い豚を作らない

太り過ぎにより、暑さに弱い豚になってしまいます。飼料管理をきちんと行いましょう。



鶏の暑熱対策



鶏は汗腺がないため、呼吸で体を冷やして水をよく飲みます。鶏が快適に過ごせる温度は 20～30℃と言われており、他の動物よりやや高めです。

1. 電解質の補給

飼料に 0.6%程度の重曹を加えたり、塩化ナトリウムや塩化カリウムを補給して体内のバランスを整えましょう。

2. 水温と給水器の調整

鶏が好む水温は 10～13℃です。水温が 30℃以上になると飲水量は著しく減少するため、なるべく冷水を飲ませるようにこころがけましょう。

給水器は全ての鶏が十分に飲めるよう高さや水圧を調整しましょう。

牛伝染性鼻気管炎(IBR)が発生しました！！

平成 24 年 6 月 21 日に牛伝染性鼻気管炎(IBR)が発生しました。熊本県内では平成 21 年以來の発生です。全国的には北海道を中心に、毎年約 500 頭以上の発生が確認されています。



動物の感染症

1. 症状

発熱(40℃以上)、元気・食欲低下、鼻汁、流涎、乳量低下、流産、結膜炎(瞼が腫れる)など、様々な症状が認められます。致死率は高くありませんが、細菌による二次感染で重症化し、経済的ダメージを大きく与えます。

一度感染すると生涯にわたり体内にウイルスが潜伏するので、回復した後も免疫力の低下により再び発症し、ウイルスを排出し続け、生涯にわたって感染源となります。

2. 感染経路

感染した牛の鼻汁や涙などの分泌物及びそれらに汚染されたほこりを吸い込むことによって感染します。

3. 予防法

IBRの予防にはワクチンが有効です。加えて、飼養衛生管理基準や消毒を徹底し、牛の体調管理に注意を払いましょう。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	台湾	5月 1日	豚	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	カンボジア	5月27日	家きん	H5N1
	中国	6月 1日	家きん	H5N1
	香港	6月18日	家きん	H5N1
	中国	7月 2日	家きん	H5N1

(2012年7月4日 現在)